

平成 28 年度 密教研究会学術大会

特別講演

日本におけるチベット密教研究の意義と可能性

講師 田中 公明 先生

(中村元東方研究所専任研究員)

平成 28 年 7 月 8 日 (金) ・ 9 日 (土)

高野山大学

7月8日（金）

【午前の部】（二会場同時開催）

第1会場（高野山大学2F 第3会議室）（9：30～12：00）

- 1、密教修法の意義—恵果の阿尾奢法修法に関する記述をめぐって—
高柳健太郎（高野山大学大学院博士後期課程）
- 2、空海漢詩文研究 「遊山慕仙詩」序の「何必神龜照心一足也」の解釈
中谷 征充（高野山大学密教文化研究所 受託研究員）
- 3、空海肖像の成立年代についての検討
八木 高秀（高野山大学密教文化研究所 受託研究員）
- 4、『梵字並びに雑文を献ずる表』における「梁武帝草書評一卷」について
付 京都国立博物館所蔵・沈粲書『梁武帝草書状』（影印本）
大柴 清圓（高野山大学密教文化研究所 専任研究員）
- 5、「遍計所執捨不捨」について 土居 夏樹（高野山大学）

第2会場（高野山大学2F 第2会議室）（9：30～12：00）

- 1、鳳潭と妙瑞の圓音解釈について 沼野 直子（高野山大学密教文化研究所受託研究員）
- 2、『理趣経秘決鈔』にみる「灌頂成仏」説
亀山 隆彦（龍谷大学世界仏教文化研究センター）
- 3、『金剛頂タントラ』のプダク写本について
徳重 弘志（高野山大学密教文化研究所 受託研究員）
- 4、『金剛句真髓集難語釈』の引用文献について—ナーローパの思想的立場をめぐって—
大観 慈聖（京都大学大学院修了）
- 5、『中観五蘊論』の著者について—月称部分著作説の再検討—
横山 剛（京都大学大学院博士課程）

【午後の部】（一会場）

第1会場（高野山大学2F 第3会議室）（13：00～17：00）

- 1、書名はだれが決めるのか—**Prajñāpradīpā*を例とした梵語仏典の書名確認の方法論的反省—
加納 和雄（高野山大学）
- 2、勇者の饗宴儀礼について—伝ナーローパ作の聚輪儀軌—
静 春樹（高野山大学密教文化研究所 委託研究員）
- 3、西夏王国におけるヤントラヨーガとモンゴル・元王朝
沈 衛榮（北京人民大学）
- 4、長谷部隆諦のネパール調査とその将来品—高野山霊宝館所蔵資料を中心に—
奥山 直司（高野山大学）

特別講演 日本におけるチベット密教研究の意義と可能性

講師：田中公明先生（中村元東方研究所専任研究員）

総 会（2F 第3 会議室 17:00 ～）

懇親会（18：00～）

7月9日（土）

【午前の部】（9：30～12：00）

第1会場（高野山大学2F 第3会議室）

- 1、曼荼羅からみた理想的な地域コミュニティのあり方
久保 光弘（高野山大学大学院研究生）
- 2、臨床場面で語られる心霊体験の意味と心の癒し
小松 光友（友子）（高野山大学大学院研究生）
- 3、天野社第三殿における蟻通明神祭祀の由来—鑄造神像発見との関係から—
富田 弘子（高野山大学大学院修士課程修了）
- 4、石原莞爾と「大陸」の宗教—チベット仏教との関わりを中心に—
高本 康子（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）
- 5、空海の生死観
武内 孝善（密教研究会会長・高野山大学名誉教授）

※発表時間は20分、質問時間は5分です。時間を厳守くださいますようお願い申し上げます。

※総会を欠席される方で、ご意見等ございます場合は、前日までに密教研究会事務局までお知らせください。なお、ご連絡がない場合は、会長に委任したものとさせていただきますので、その旨、ご了承ください。

※懇親会費は1名3,000円をご負担いただきます。当日受付にてお支払ください。会場は大学ホール（大学食堂）です。

謹啓

初夏の候、会員各位におかれましては、益々ご清祥にてお越しのことと存じ上げます。平成28年度密教研究会学術大会を、平成28年7月8日(金)・9日(土)の両日にわたり、高野山大学において開催いたします。今年度は、田中公明先生（中村元東方研究所専任研究員）による特別講演「日本におけるチベット密教研究の意義と可能性」も開催いたします。奮ってご参加いただけますよう御案内申し上げます。

合掌

平成28年6月

密教研究会会長 武内 孝善

密教研究会事務局

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山 385 高野山大学内

TEL 0736(56)2921(代) / FAX 0736(56)2980(代)